

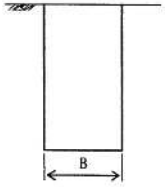


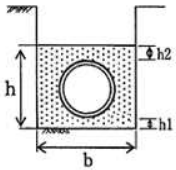
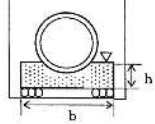

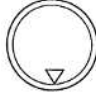
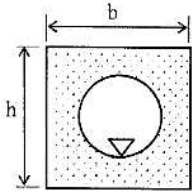
下水道工事出来形管理基準

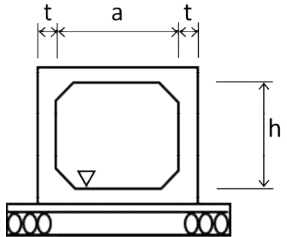
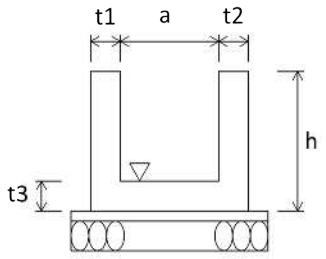
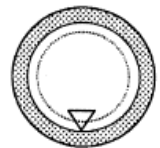
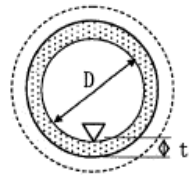
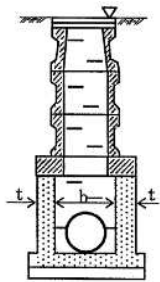
新居浜市上下水道局下水道課

1. 出来形管理の方法について

受注者は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目及び測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形成果表を作成し管理するものとする。

2. 出来形管理基準

工種	測定項目	規格値(mm)	測定基準	測定箇所	
1	管路掘削	幅 B	-50	マンホール間ごとに1箇所測定する	
2	管布設	管底高 ∇	± 20	マンホール間の両端部	
		勾配 i	$\pm 10\%$ 逆勾配は認めず		
		延長(測点間) l	± 50	延長は区間距離とする	
		総延長(全長) L	-100		
3	基礎工 (砂・碎石)	幅 b	-20	マンホール間の中央及び両端部	
		高さ h	-20		
		h1	-20		
		h2	-20		
	(碎石)	幅 b	-20	マンホール間の中央及び両端部	
		高さ h	-20		
	(コンクリート)	幅 b	-20	マンホール間の中央及び両端部	
		高さ h	-20		
4	推進工	基準高 ∇	± 50	基準高、水平方向の偏位は推進管1本毎に1箇所測定する	
		水平方向の偏位	左右50		
		勾配 i	$\pm 10\%$ 逆勾配は認めず		
		延長(測点間) l	± 50	延長は区間距離とする	
		総延長(全長) L	-100		
5	空伏工 (コンクリート)	管底高 ∇	± 50	1施工箇所ごとに測定する。	
		構造物_幅 b	-30		
		構造物_高さ h	-30		
		延長 l	-50		
		勾配 L	$\pm 10\%$ 逆勾配は認めず		
6	汚水ます	深さ	設計値以上	1箇所ごとに測定する	

	工種	測定項目	規格値(mm)	測定基準	測定箇所
7	ボックス築造・布設工	基準高	▽ ±20	測点ごとに測定する	
		※厚さ	t -10	マンホール間ごとに1箇所測定する	
		※内幅	a -20		
		※高さ	h ±20	※は現場打ちボックスの場合	
		勾配	i ±10% 逆勾配は認めず	測点ごとに測定する	
		延長(測点間)	l ±50	延長は区間距離とする	
		総延長(全長)	L -100		
8	水路工	基準高	▽ ±20	測点ごとに測定する	
		※厚さ	t1,2,3 -10	マンホール間ごとに1箇所測定する	
		※内幅	a -20		
		※高さ	h -20	※は現場打ち水路の場合	
		勾配	i ±10% 逆勾配は認めず	測点ごとに測定する	
		延長(測点間)	l ±50	延長は区間距離とする	
		総延長(全長)	L -100		
9	シールド (一次覆工)	管底高	▽ ±50	セグメント5リングにつき1箇所測定する。	
		中心線の偏位 (水平)	左右50		
		総延長	L -200		
10	シールド (二次覆工)	管底高	▽ ±50	施工延長40mにつき1箇所測定する	
		中心線の偏位 (水平)	左右50		
		二次覆工厚	t -20	1打設につき端面で上下左右4点を測定する	
		内径	D ±20	内径は、施工延長40mにつき1箇所測定する	
		勾配	i ±10% 逆勾配は認めず	測点ごとに測定する	
		総延長	L -200	延長は区間距離とする	
11	マンホール工	天端高	▽ ±20	1施工箇所ごとに測定する。 ※は現場打ちマンホールの場合	
		※幅(内寸)	-30		
		※壁厚	-20		
12	鋼矢板土留	基準高	±50	施工延長20mにつき1箇所	
		変位	100	※20m未満の場合は2箇所	